

第39回水生昆虫研究会参加報告

第39回水生昆虫研究会が11月1-3日に愛知工業大学の内田臣一先生の研究室のお世話で、矢作川の源流域である長野県下伊那郡平谷村の「けいしょう館」と平谷村役場2F会議室にて開催されました。人口500人未満の小さな村での会に全国から43名の参加者があり、ポスター2題、口頭発表16題がありました。塘研からは5名（大平、武田、難波、林、塘）が参加しましたが、今回は誰も発表できない、という恥ずかしい事態でした。とは言え、学生は毎晩の懇親会でそれぞれの研究内容を参加されたそれぞれの分野のスペシャリストの方々に聞いて頂いたり、研究材料や研究手法に関するアドバイスを頂いたり、研究発表を聴いたり、議論したりする以外に得るものの多い会となったようです（来年は発表できるように頑張りましょう）。

2日目の午後はエクスカージョンの予定でしたが、生憎の雨で、夕方の短時間、個々でサンプリングに行くことになりました。大平君はカニムシ採集に、それ以外の4人はヒメシロカゲロウ採集に行きました。近くに岩倉ダムがあったので、その直下の河川とダム湖内で林君の研究材料のヒメシロカゲロウの幼虫を探しましたが、残念ながら見つけることはできませんでした。大平君は今回のサンプリングで長野県からは初めてとなる*Mundochthonius*属のカニムシを得ることができたようです。

3日目は前日の雨から打って変わって晴天となり、眺望の良い高嶺山頂下の長者峰（標高1573.6m）に全員で行き、そこで解散となりました。福島から車で片道6時間以上もかかる場所でしたが、楽しい3日間で毎晩遅くまで飲んだ割には帰りの運転もそれほど疲労を感じませんでした。



信州大学・東城幸治先生の写真を借用しました



奥に見えるのが南アルプスの山々です